

## DJN #041 ノート: イエスによる新信者の浸礼の実践

イエスが公の宣教活動の初めに、洗礼者ヨハネから受けたご自身の浸礼の必要性を主張されたことは、すでに見てきました。ここでも、イエス自身の例が、すべての信者が従うべき浸礼の基準を示しています。さらに、イエスは復活後、教会に「大宣教命令」に従ってすべての新しい弟子を浸礼し続けるよう命じました。マタイ 28:18-20 浸礼はイエスにとって選択の余地がなく、新しい信者にとっても選択の余地はありません。DJN #041 は浸礼に関するイエス。の考えに対する重要な洞察を与えてくれます

イエスによれば、浸礼について2つの質問をします。何ですか?そして、どのようにですか?

「洗礼」という言葉はどういう意味でしょうか?これはギリシャ語の新約聖書の原文から翻訳した簡単な言葉です。「洗礼する」とは、物体を液体、通常は水に浸す、または沈めることを意味します。たとえば、この表現は、戦闘中に船が沈没したり、海中に沈んだりしたときに使われます。船は水に「浸された」のです。

プロテスタント改革の時代にギリシャ語新約聖書の翻訳が作られ、印刷され始めたとき、儀式としての「洗礼」の儀式は、すでに教会で非常に長い歴史を持っていました。翻訳者は、その用語の元の意味(浸す)を単に翻訳するのではなく、教会の儀式の名前(洗礼)を翻訳に使用しました。これはそれ以来、あらゆる種類の混乱を引き起こしてきました。英語の聖書で「baptize」を「immerse」という動詞に置き換え、「baptism」を「immersion」という名詞に置き換えると、著者が使用していたのと同じようにそれらの単語を理解することができ、初期の教会もそれらを理解しました。

この言葉は「浸す/沈める」という意味なので、新約聖書で水に関して使われるたびに、浸水を受ける人は文字通り水の中に入り、その後水から出てきます。新約聖書ではこれに例外はありません。なぜなら、それがこの言葉の意味だからです。イエスの浸水は完璧な例です。「**イエスが水から上がると、天が開けたのをご覧になった...**」マタイ3:16

「**ヨハネより多くの弟子を作り、浸礼を施した**」ことに注目してください。この二つの動詞の順序は重要です。イエスは弟子たちに証しをし、イエスを信じる信仰に導くことによって弟子たちを「作り」ました。彼らが信じた後、イエスは浸礼を命じました。まず信じ、それから浸礼を受けなさい。この順序は新約聖書では決して破られていません。決して。なぜでしょうか。水中への浸礼は、新しい信者がイエスを信じる信仰を通して経験したことを公に証しするのです。

キリスト教の浸礼では、水は墓を象徴します。したがって、浸礼はイエスの埋葬と復活の象徴的な再現です。新しい弟子は、(1) 聖書に従ってイエスが死んで復活し、彼らの人生の主であると信じていることを公に示します。信者が浸礼を通じて象徴的に「墓に入り」、イエスがしたように再び出てくるのはそのためです。

の罪深い不信仰の古い生活は永遠に終わり、彼らは聖霊によって「上から生まれ変わり」、イエスがすべてを支配しておられるまったく新しい生活を始めるのです。彼らは「新しい管理の下に」います。し

## DJN #041 ノート: イエスによる新信者の浸礼の実践

たがって、浸礼は(2)信者の死と新しい生活も象徴しています。最後に、信者の水への浸礼は(3)イエスの力によって彼ら自身が将来墓から肉体的に復活することへの信仰も表しています。

イエスは、すべての弟子が、イエスに見たものや経験したことを公に証言し、イエスの証人チームに加わることで、イエスと共に人生を始めることを期待していました。

イエスはどのようにして新しい弟子たちを浸礼していたのでしょうか。このことをよく見てください。ヨハネは二度、**「イエスは浸礼していた」**と述べています(3.22、4.1)。これは、イエスが文字通り弟子たち一人一人と一緒に水に入り、自分の手で浸礼を執り行っていたように聞こえます。しかし、ヨハネは4.2でその過程を明確にしています。**「―洗礼を執り行っていたのはイエス自身ではなく、弟子たちであったにもかかわらず―」**つまり、すでにイエスを信じ、すでに浸礼を受けていた弟子たちが、イエスによって新しい信者たちの浸礼を執り行うために用いられたのです。

これは、イエスの命令に従って他の信者によって浸礼を受けた弟子たちは、実際には他の信者の管理下でイエス自身によって浸礼を受けているということを、ヨハネがイエスから信じていたことを示しています。すべての新しい信者がイエスの命令に従って、イエスから直接、イエスに代わって浸礼を受けることは、非常に重要なことです。

重要なのは、誰が浸礼を執り行うかということではありません。むしろ、浸礼に関するイエス自身の権威と命令が、すべての新しい信者をイエスの洗礼を受けさせるのです。ですから、イエスが実際に浸礼を執り行わなかったにもかかわらず、ヨハネは**「イエスはヨハネよりも多くの弟子を作り、浸礼を行っていた」と言うことができました**。私たちが神の言葉に従って行うすべてのことは、神から、神を通して、神のために行われます。これが従順の喜びです。

現代の教会は、キリストの他のどの戒めよりも、浸礼に熱心であるように思われます。私たちは人々に浸礼を受けるよう勧めます。しかし、私たちの動機は疑わしいものです。イエスは、浸礼を公の証言生活の始まりとすることを意図していました。イエスは、弟子たちがイエスのようになり、イエスから見聞きしたことの真実を証言することを望んでいました。公の浸礼は、新しい信者にとって、この証言生活様式を開始し、強化するものであるべきです。

浸礼は、礼拝に付け加えられた短いミニ儀式に過ぎず、新信者を水に浸してそれで終わりにしてしまうことが多すぎます。残念ながら、継続的な証しのライフスタイルは、そのような単なる儀式とはほとんど関係がありません。

の強力な証人チームに永久的に加わるようにしましょう。まず、主イエス・キリストが彼らのためにどんなに素晴らしいことをしてくださったかを口で証言させましょう。それから浸礼をしましょう。この種の個人的な伝道はイエスからの日々の召命であると教え、それを実行できるように備えさせましょう

## DJN #041 ノート: イエスによる新信者の浸礼の実践

。 イエスによれば、彼らの浸礼の証言は、これから起こる無数の大胆な証言の最初のものとなるでしょう。

新しく信仰を持つ人の浸礼は、従順な生活様式の具体的な第一歩となることも意図されています。イエスがそれを命じました。彼らはその命令を学びます。彼らはそれについて祈り、それを実行する力を主に信頼します。彼らは主から浸礼を受け、愛の礼拝行為として主に対して浸礼を行います。

これは、将来キリストのすべての命令に関して彼らが追求する従順の過程です。浸礼はテストケースです。証言と同様に、それは絶え間ない従順のライフスタイルにつながるはずですが、それがイエスが言った理由です。 **「父と子と聖霊の名において彼らを浸礼し、私があなた方に命じたすべてのことを注意深く守るように教えなさい。」** マタイ 28:19B-20A

私たちはできる限りすべての人を浸礼に導くことに熱心ですが、キリストの戒めをすべて学び、それを実行するという決意は、私たちの意識からほとんど抜け落ちています。浸礼は、従順の一度きりのステップです。キリストの戒めをすべて学び、従うことは、生涯にわたる情熱です。

正直に言って、キリストのすべての戒めを身に付けるための具体的な計画は何ですか。ご自身が浸礼を受けてから、完全な従順さへの進歩を10段階で評価するとしたら、どのくらいですか。その数字を上げるために、今日、どのようなステップを踏むことができますか。

ATJ Ministries の目標は、すべての弟子がイエスが命じたすべてのことを学び、従い、他の人に教えるためのリソースを提供することです。あなたもこの決意に賛同しますか？